

COOP



家計簿・くらし調査研究会

生活協同組合 ユーコープ

2014年 家計簿のまとめ

2014年は何といても“消費税”が話題の年でした。「2014年のまとめ」は消費税増税の前と後の比較や増税がどの世代に負担になっているかなど“消費税”を主にまとめをします。

<家計簿提出活動の意義・目的>

- ・ 自分のくらしを見つめる
- ・ 生協の事業に生かす
- ・ 社会的にデータを役立てる



★コープの家計簿集計では…

1. 「総平均」 : 合計を提出者数で割った数値
2. 「記入者平均」 : 合計を記入者数で割った数値
3. 「1ヶ月あたりの平均」 : 年間の合計を12ヶ月で割った数値
4. 「収入」 : 非消費支出の税金・社会保険を引く前の数値

* 各項目のコメントは、「家計簿・くらし調査研究会」としての所見です。

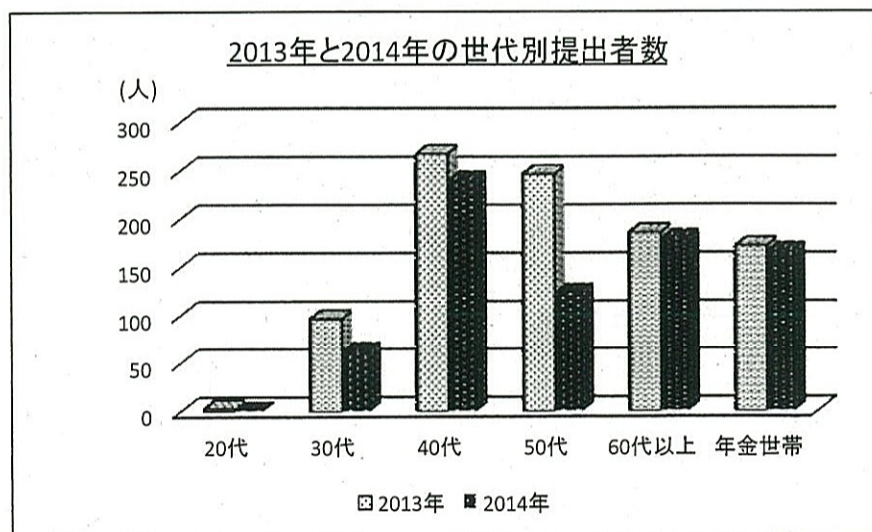
★家計簿提出者数

モニター数は722名（紙提出243名、web提出479名）で、2013年より58名減でしたが、web提出構成率は66.3%で、前年より3%増えました。全12ヶ月提出者数は549名で、モニター数の76%で2013年と変わりませんでした。

★モニターの生活状況

世帯主の平均年齢は53.3歳で、2013年（52.1歳）より1.2歳増えています。世代では50代のモニターが増えています。住居状況は84.7%が自家でした。職種は2013年と変わらず、給与所得者が多く、70.4%を占めています。

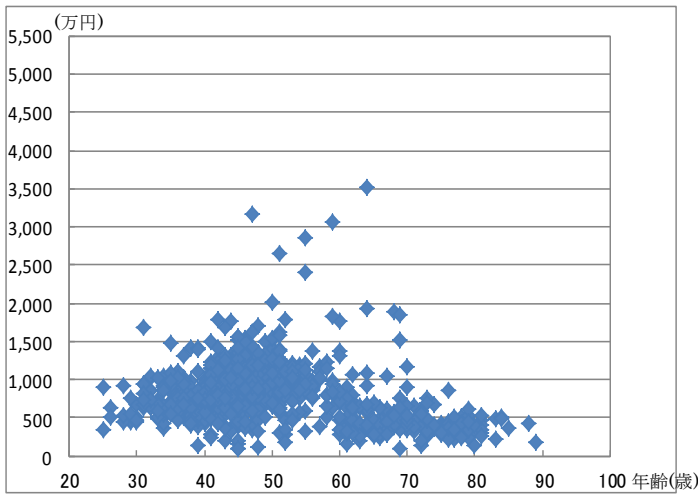
子どもの状況は、「乳幼児」「小・中学生」は減っていますが、「高校生」「大学生」は増えています。特に50代で「大学生」が増えています。前年と同じように60代以上で、「その他」の子どもが多かったです。



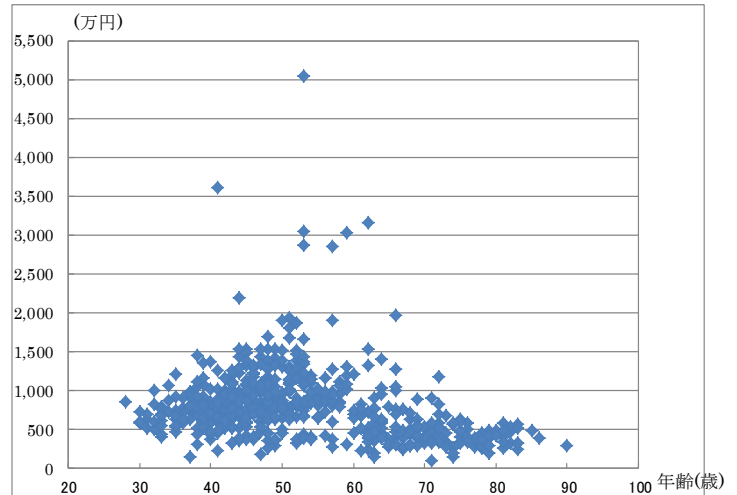
収支の経年変化

2011年～2014年の収入分布図

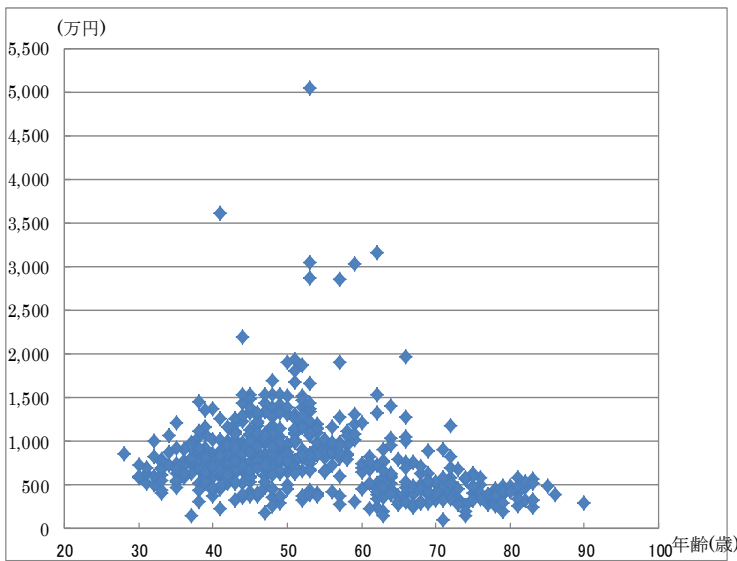
【2011年】



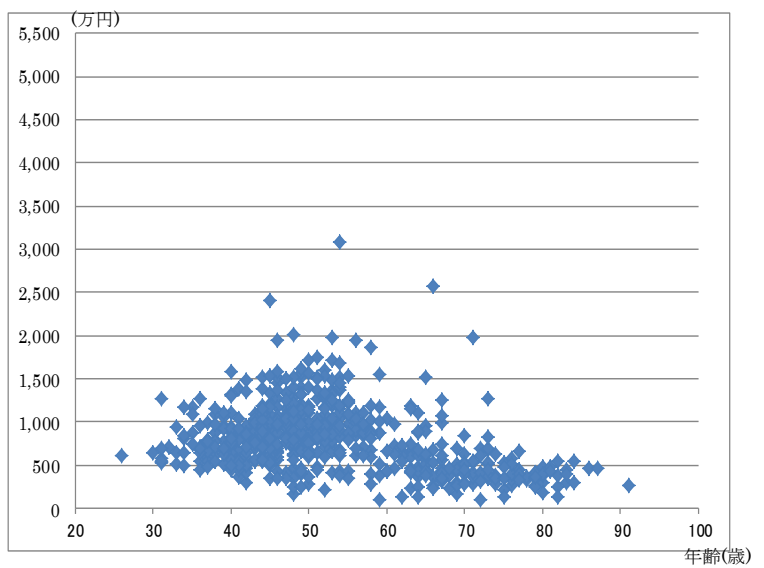
【2012年】



【2013年】



【2014年】



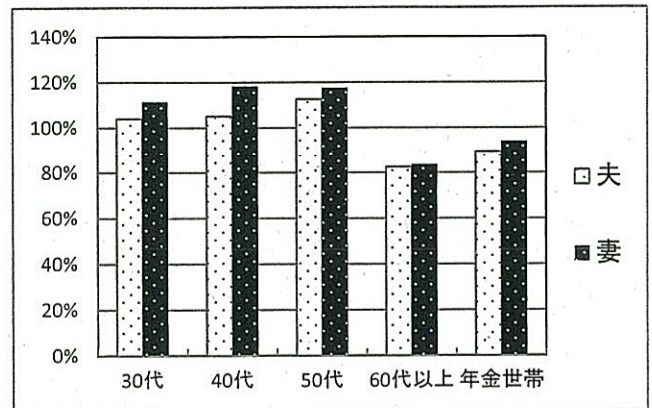
*母数は、592名(2013年)、602名(2012年)、695名(2011年)、578名(2014年)です。

収入

実収入は、全体では昨年比 100.4% でほぼ同額です。20代から40代の働き盛り層に収入の増加がみられますが、50代以上は昨年の額には届きませんでした。

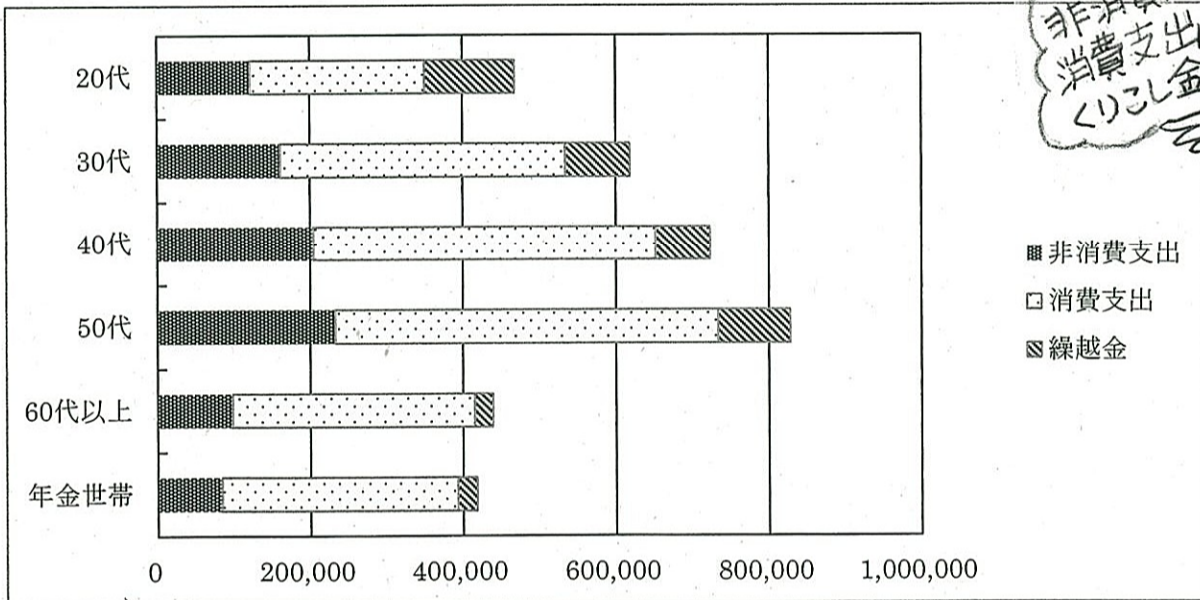
ただ2014年の特徴は、30代から50代の賞与の伸びが顕著なことです。特に50代の夫・30代から50代の妻の賞与の伸びが目立ちます。給料の減った分を賞与が補っている形になります。賞与が増えたのは企業の業績が良くなってきていることの表れでしょうか？

2014年世代別夫と妻の賞与（2013年を100とする）



収入と非消費支出・消費支出・繰越金

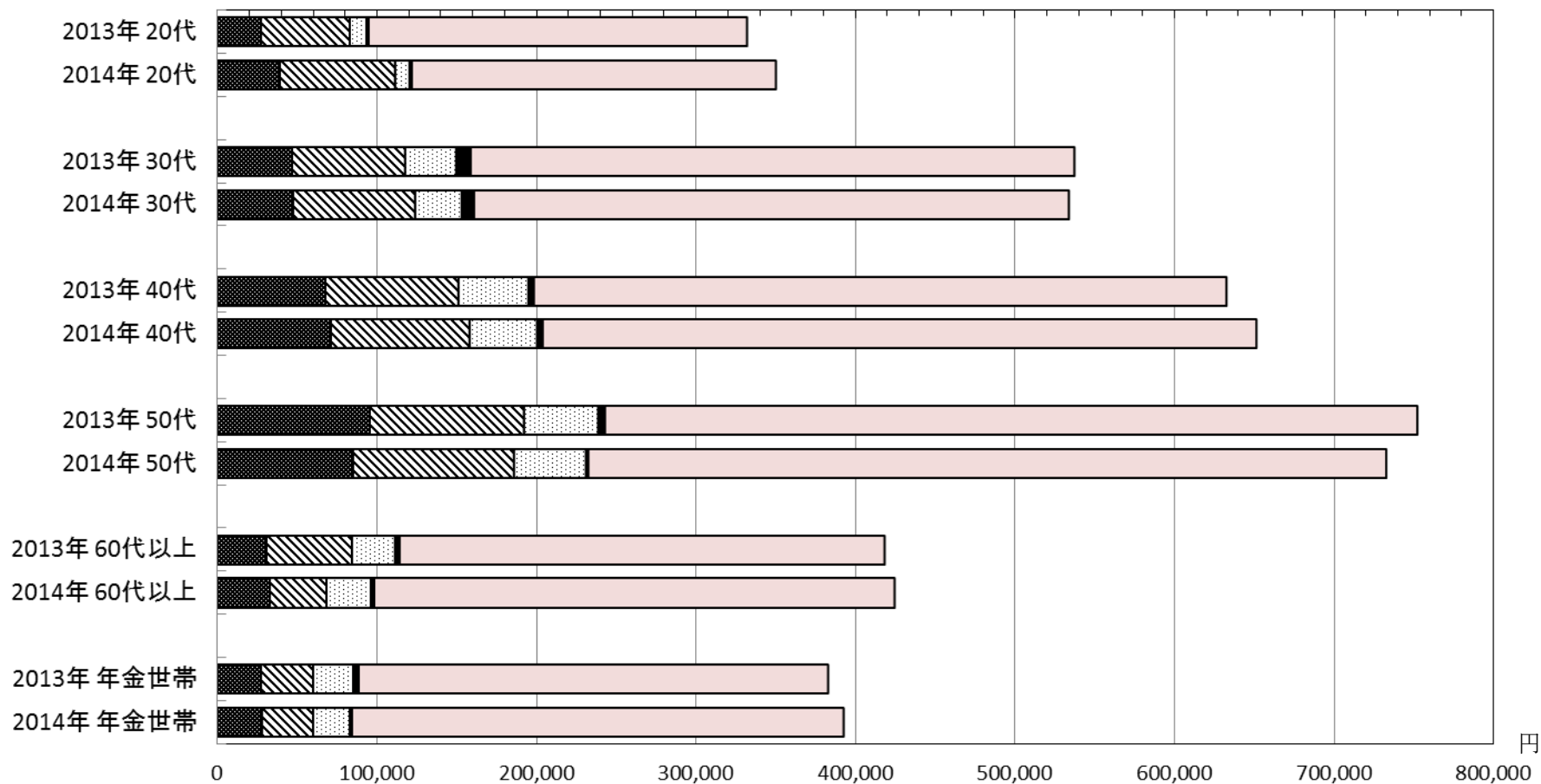
	20代	30代	40代	50代	60代以上	年金世帯
非消費支出	121,713	161,021	204,298	232,889	114,064	84,255
消費支出	228,691	373,161	447,256	500,644	316,998	308,590
繰越金	117,632	84,232	71,385	93,992	23,880	25,307
収入	458,036	618,414	722,939	827,525	438,779	418,152



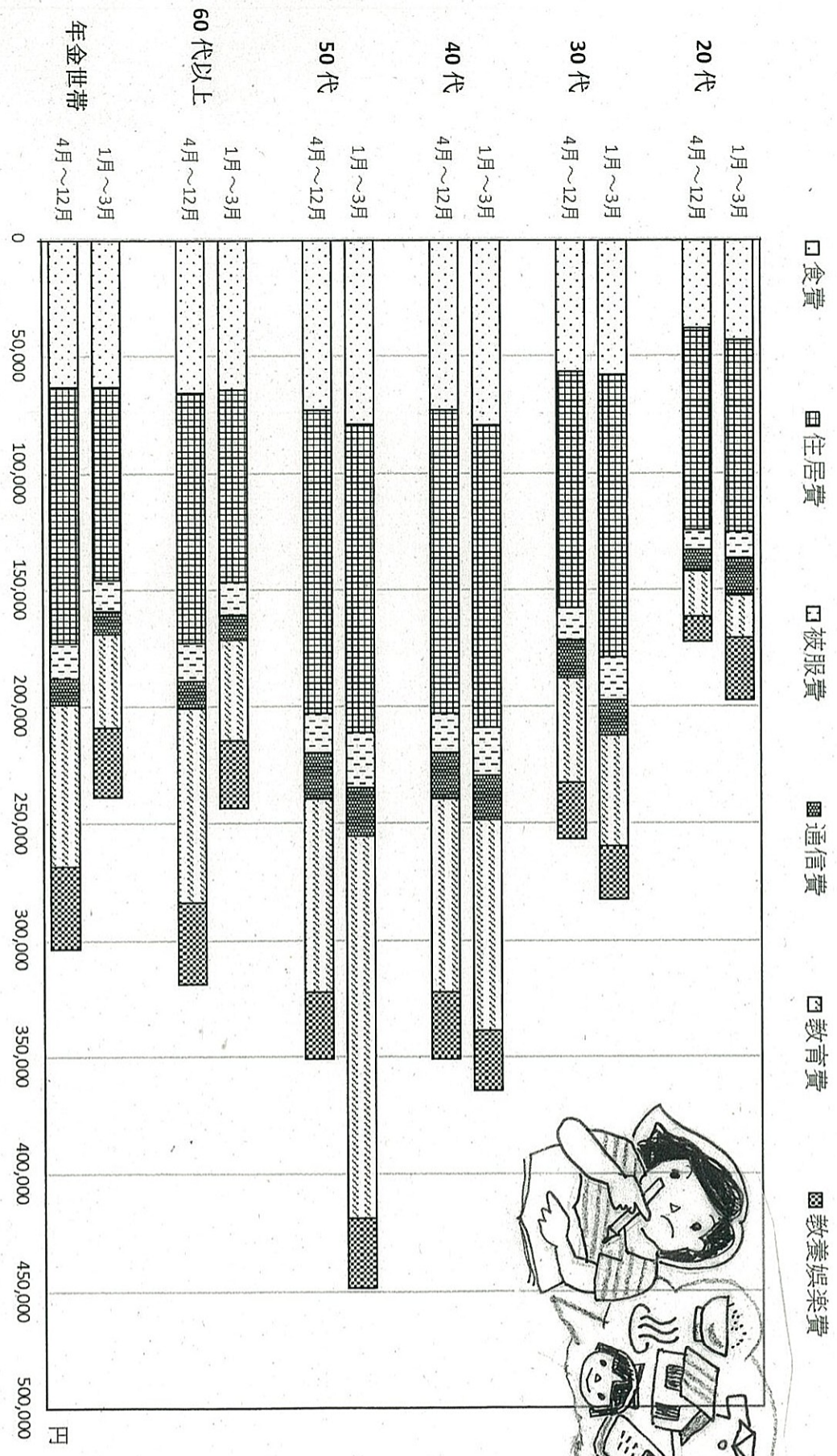
各世代とも収入に比例して非消費支出の増減がありました。消費支出は2013年とほぼ同額です。繰越金は60代以上・年金世帯が2013年より約半分になっています。

2013年と2014年の年代別 総支出に占める非消費支出の内訳

■税金 ■社会保険 ■私的保険 ■その他 □消費支出



2014年 年代別 増税前と増税後の6費目の支出金額 (月平均)



- P.5 のグラフより -

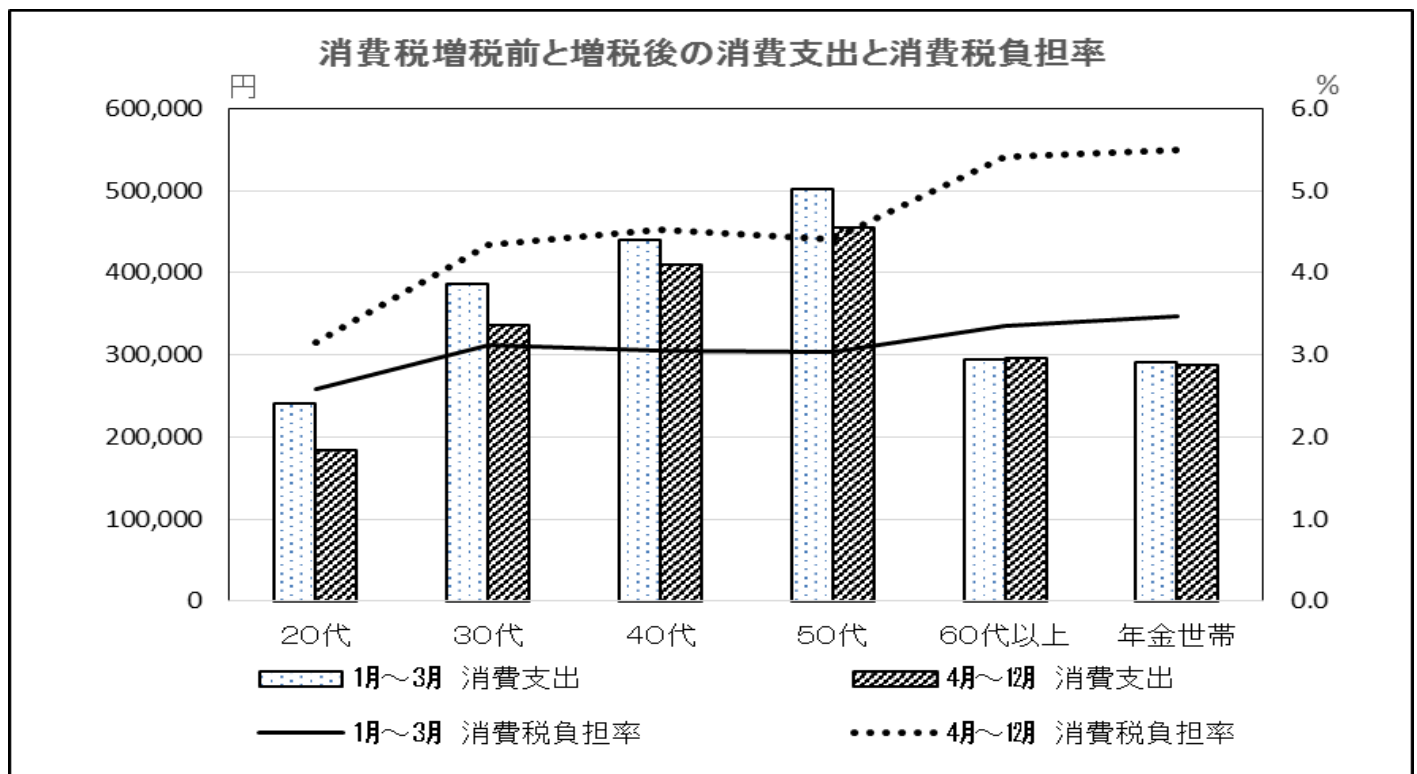
2014 年の 6 費目について、増税前と増税後を年代別に比べました。

*6 費目：食費・住居費・被服費・通信費・教育費・教養娯楽費

☆2014 年 4 月、消費税が 8%になり、消費税の重さを感じるようになりました。

消費税引き上げ後、節約をしたい 3 大費目は食費・被服費・教養娯楽費でした。各費目の支出は、消費税増税の前と後で、どのように変わったのか 6 費目について調べました。

- ①食費は消費税が上がったにも関わらず、50 代以下で減っています。60 代以上はほとんど変わりません。
- ②住居費・教育費は増税による変化は、あまりありませんでした。
- ③被服費は 50 代以下で最も減っている費目です。60 代以上では増えています。
- ④通信費はほとんど変化がなく、節約しにくい費目のようです。
- ⑤教養娯楽費は 4～12 月に夏・冬休みが含まれているため、増税前後の比較がし難しくなっています。
- ⑥6 費目に関しては、50 代以下では減っていますが、60 代以上では増えています。



* 消費税負担率 = 消費税額 ÷ 収入 × 100

☆総消費支出は 50 代以下では減っていますが、60 代以上はほとんど変化がありません。

☆消費税負担率は 60 代以上は、総消費支出がほぼ変わらないので、消費税負担率が高くなっています。

支出費目ランキング



社会保障費



家賃・地代



税金



教養娯楽費



食費



教育費



職業・主婦費



自動車関係費

	総合	20代	30代	40代	50代	60代以上	年金世帯
1位	 75,014	 72,248	 82,140	 87,381	 104,296	 65,074	 62,975
2位	 70,688	 47,185	 77,194	 83,174	 100,537	 35,426	 33,005
3位	 63,715	 41,875	 56,296	 78,032	 85,107	 32,533	 32,107
4位	 61,561	 38,929	 47,097	 74,215	 77,930	 32,427	 27,738
5位	 61,159	 20,418	 42,622	 70,817	 69,754	 28,919	 27,634
6位	 38,795	 16,036	 36,448	 42,220	 49,470	 28,306	 26,220
7位	 37,661	 14,622	 36,004	 40,097	 45,376	 26,714	 26,171

- 全体的にまず目につくのは、社会保障費（公的年金や健康保険、介護保険など）の多さで、20代～60代以上は1～2位に入っていますが、60代以上・年金世帯の社会保障費は他の世代に比べて、半額以下に減っています。
- 20代～40代までは、家賃・地代も1～2位に入っています。
- すべての年代でランクインしているのは社会保障費、食費、税金です。
- 40～50代は教育費が上位に入っています。
- 60代以上～年金世帯は食費が断トツでトップ、また、教養娯楽費や職業・主婦費が、ランクインし、生活を楽しんでいる様子がうかがえます。

2014年消費税に寄せられた声

2014年4月から、消費税が5%から8%になりました。表示が内税から外税に変わったこともあり、この3%が思ったより重税感があるという声が多く寄せられました。

★2月分の集計を終え、ひしひしと消費税のアップが身近になりました。今月の我が家の消費税は12893円、これが8%だと20628円になり、8000円もの支出増になります。年間で10万円、消費を抑えて10万を捻出するのは容易ではありません。今更ながら、3%アップの怖さを実感しています。(66歳)

★とりあえず今月も頂いた給与の範囲でおさまりました。思った以上に消費税8%の負担は大きく、食費を切り詰め傾向。娯楽要素はゼロです。来月は夏休み。さてさて安めにあげられるレジャー計画を考えないと！(?歳)

★消費税8%アップは、特に毎日消費する食費に大きな影響を与えている。高齢者にとって福祉に配分されるなら、アップも仕方ないと思っていたが、今の毎日に与える食費の値上がり分は痛い。(?歳)

声

★3月はスーパーもホームセンターも人であふれかえっていたが、4月になったらすっからかん。たかが、3%だともっていましたが、皆さんの反応は素直。そして、店をみても、8%ってこんなに大きかったと思うくらい、沢山のものが高くなった気がします。特にガソリンは大打撃でした。(46歳)

★2月に入ってテレビや週刊誌で4月に消費税8%になる話題が多くなりました。
私も安い時に買いだめしています。洗剤、歯磨き等 理容衛生費が倍以上になりました。(72歳)

★消費税増税にのせられて、今月は買い込み過ぎた気がします。政府の読み通りの行動をしている一般市民です。(笑) (33歳)



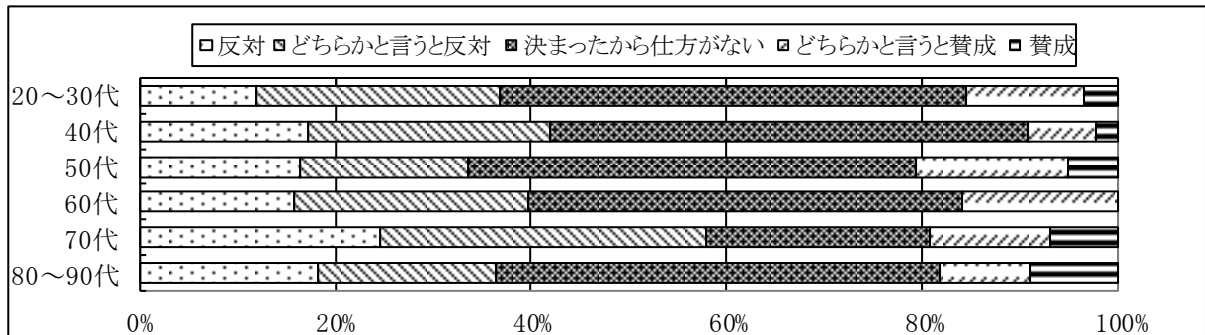
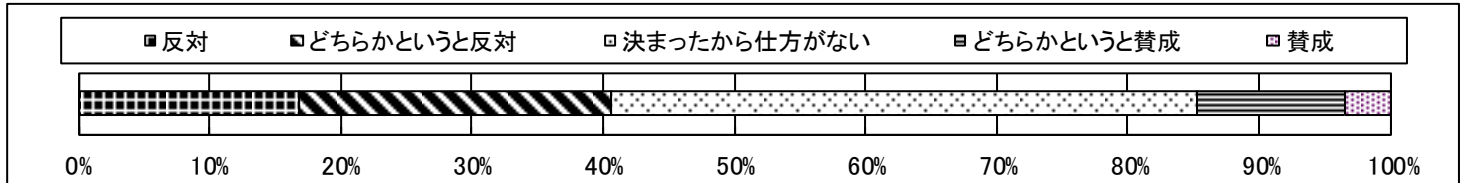
★値上げの春!!今月はけちけち暮らしてみました。我が家は特に買いだめはしなかったのですが、少しムダを減らそうと意識するだけで、食費が1万円くらい減りました。どんだけムダ使っていたんだ・・・と愕然。今月の増税、家計を見直すいい機会になったかもしれません。でも10%はムリだな・・・。(42歳)

消費税増税前アンケート集計報告 (実施; 2月、回答数; 567名)

(1) アンケート回答者の世代

	20~30代	40代	50代	60代	70代	80~90代	合計
人数(人)	85	217	125	73	56	11	567
割合(%)	15	38	22	13	10	2	100

(2) 消費税増税をどう思うか?



全体では「反対・どちらかという反対」が約40%、「決まったら仕方がない」も約40%で、「賛成・どちらかという賛成」は約20%でした。70代を除くどの世代も「決まったら仕方がない」は約45%でした。世代別に見ると、70代は「反対・どちらかという反対」が約60%を占めていました。が、「賛成・どちらかという賛成」も約20%いました。消費支出の割合が高い60代は「賛成」が1人もいませんでした。

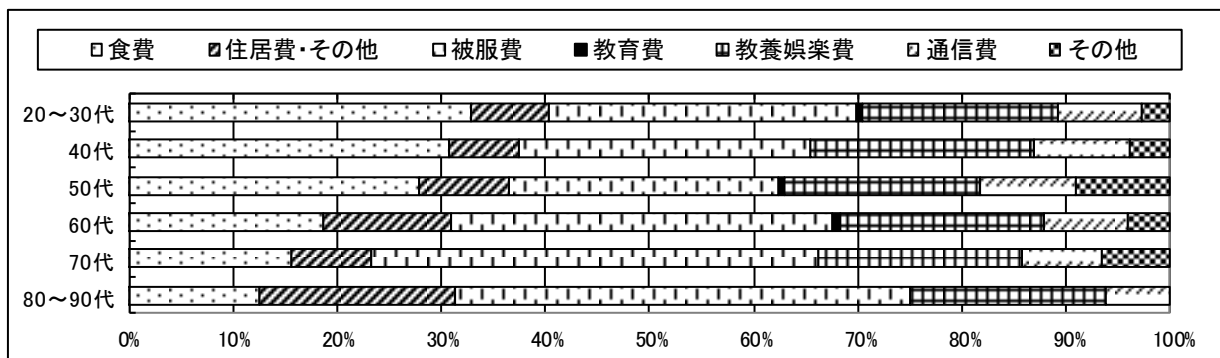
(3) 消費税増税前に買い物をしておこうと思いますか?

	20~30代	40代	50代	60代	70代	80~90代	合計
はい	55	144	53	47	24	2	325
いいえ	28	71	62	26	32	8	227
合計	83	215	115	73	56	10	552

20~30代・40代・60代は「はい」が多く、買い物をしておこうと思っていますが、70代・80~代では「いいえ」が多く、買い物をしておこうとは思っていないようでした。買い物をしておきたい物はどの世代でも、日用品と食料品で半分以上を占めていて、パソコン・家電製品や自動車などの高額商品は約15%でした。化粧品・定期券・防災用品・ガソリンなども20~70代までは約15%でしたが、80~90代は誰もいませんでした。

(4) 消費税が増税になったら節約をしようと思っていますか?

全体では「はい」(節約をしようと思っている)は76%で、「いいえ」は24%でした。



「食費」は20~50代で、節約をしようとする割合が高くなっています。「被服費」全世代で、節約費目の1位でした。「教育費」を節約しようと思っている人は567名のうち3名だけで、「教育費」の節約は難しいのでしょうか?

2014年「家計簿・暮らし調査研究会」活動報告

2014年

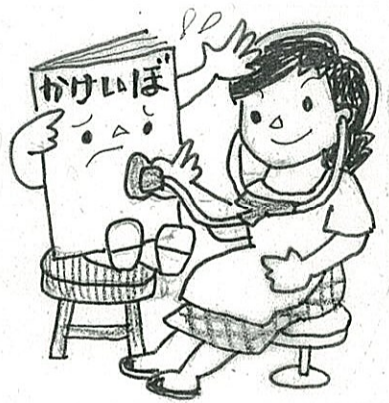
- ◇2/21・・・辻堂駅前店にて「退職金受け取り方のポイント」講座を労金と共同開催。
- ◇6/24・・・「2013年生計費調査報告」公開研究会に参加。「2013年のまとめ」、
「2013年活動のまとめ」を提出。
- ◇10/10・・・“辻堂駅前店”にてモニター交流会開催。
中村喜美子さんのお話と「知って得する暮らしの知恵」の紹介。
- ◇毎月定例会を開催。
- ◇毎月「かけいぼニュース」を作成・発行。
- ◇2月消費税増税前のアンケート実施。
- ◇「2013年のまとめ」を作成・発行。
- ◇12月「今年の思い出に残る高額支出」アンケート配布。(回収は2015年)

2014年1月号～12月号の「かけいぼニュース」(①は1面、③は3面の略)

- 1月号 ①③ここにご注意!家計簿の費目分け
- 2月号 ①加入していますか?地震保険 ③「40年誌」被服費
＜おすすめ商品＞CO・OPおいなり上手
- 3月号 ①豊かな老後の暮らしをしたい! ③「40年誌」保険医療費・理容衛生費
＜おすすめ商品＞味菜卵
- 4月号 ①みんなの節約術 ③「40年誌」交際費
＜おすすめ商品＞フルーツグラノーラ
- 5月号 ①消費税アンケートPART1 ③「40年誌」交通・通信費
- 6月号 ①消費税アンケートPART2 ③「40年誌」教育費
- 7月号 ①2013年の“まとめ”前年との比較 ③消費税増税前アンケート集計報告PART3
- 8月号 ①ある日突然に病気になったら・・・! ③「40年誌」教養娯楽費
＜おすすめ商品＞くつつかないホイル
- 9月号 ①「知って得する!暮らしの知恵」交流会のお知らせ ③「40年誌」職業・主婦費
＜おすすめ商品＞CO・OPたらこ
- 10月号 ①年に1度か2度の特別支出 ③「40年誌」自動車関係費
＜おすすめ商品＞茶美豚(チャーミーポーク)
- 11月号 ①“モニターさんの家計は?” ③交流会報告
＜おすすめ商品＞冷凍讃岐うどん
- 12月号 ①もうすぐ年末、家計簿で1年を振り返りましょう! ③ユーコープセレクション



*「2014年のまとめ」作成者(家計簿・暮らし調査研究会メンバー) 朝見・伊藤・鮫島・鈴木・旗谷・原・平野・山田(担当職員)・磯(担当スタッフ)



発行日：2015 年 6 月 25 日

お問合せ先：ユーコープ 組合員参加推進部 政策企画課

TEL 045-305-6116 (月～金 9 時 30 分～17 時)